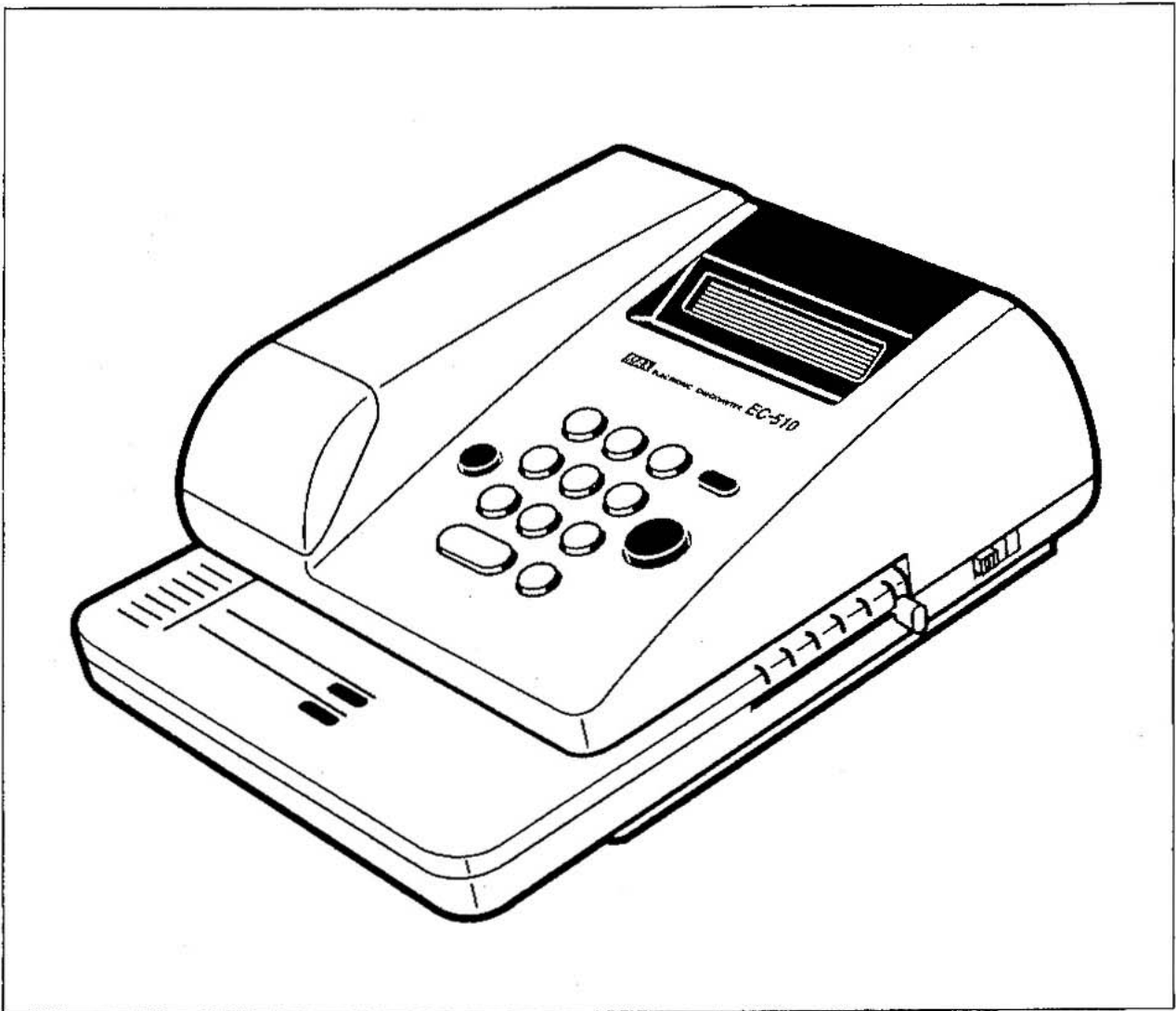
# MAX® ELECTRONIC CHECK WRITER

# 電子チェックライタ

## EC-510

## 取扱説明書

●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
●この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

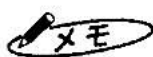
このたびは、マックス電子チェックライタをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

## ご使用上の注意

### ■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

| | | |
|---|---|---|
|  | 警　告 | 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。 |
|  | 注　意 | 取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。 |

お願い　本機が故障し修理が必要となることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

メモ　操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

### ■絵表示について

記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。

記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

# ご使用上の注意

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| | ●**本機は絶対に分解または改造しないでください。**火災、感電、故障の原因になります。 |
| | ●**本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。**故障や感電、けがの原因になります。<br>●**電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください。**火災の原因になります。<br>●**電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。**コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。<br>●**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の恐れがあります。<br>●**本機の内部に指を入れないでください。**けがの原因になります。<br>●**水、薬品などが本機にかからないようにしてください。**故障や火災、感電の原因になります。 |
| | ●**電源はAC100V専用コンセントを使用してください。**100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。 |
| | ●**万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。**そのまま使用すると故障や火災、感電の原因になります。<br>●**故障のまま本機を使わないでください。**煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。**電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。** |

# ご使用上の注意

## ⚠ 注意

- **大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントを共用しないでください。**電圧が下がり、本機が誤動作する可能性があります。
- **紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。**火災や故障の原因になります。

- **インクロールを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**本機が不意に動作した時、けがの原因になります。
- **長時間使用しない時は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

- **電源プラグは定期的に清掃してください。**長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。**コードが破損して火災や感電の原因になります。
- **本機は必ず水平に設置してください。**ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

## ご使用上の注意

**お願い** 本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

●トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。

1．直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
2．ホコリや湿気の多い場所
3．傾いたり振動や衝撃の加わる場所
4．温度が0℃以下、40℃以上になる場所

●紙以外のシートや証券用紙以上の厚紙（ダンボール等）には印字しないでください。また、証券を2枚以上挿入しないでください。紙づまりをおこし故障の原因になります。

●印字中は用紙が自動的に左側に送られますので、無理に引き抜いたり、送りを止めたりしないでください。また、紙が移動する方向に物を置かないでください。正しく印字できないばかりでなく故障の原因になります。

●印字中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを切らないでください。故障の原因になります。

●空印字をすると耐久性が落ちるばかりでなく、証券の裏を汚す原因になりますのでさけてください。万一空印字をしてしまった場合には、用紙の裏の汚れを防ぐため、不用の紙に一度印字して汚れを取ってからご使用ください。

# ご使用上の注意

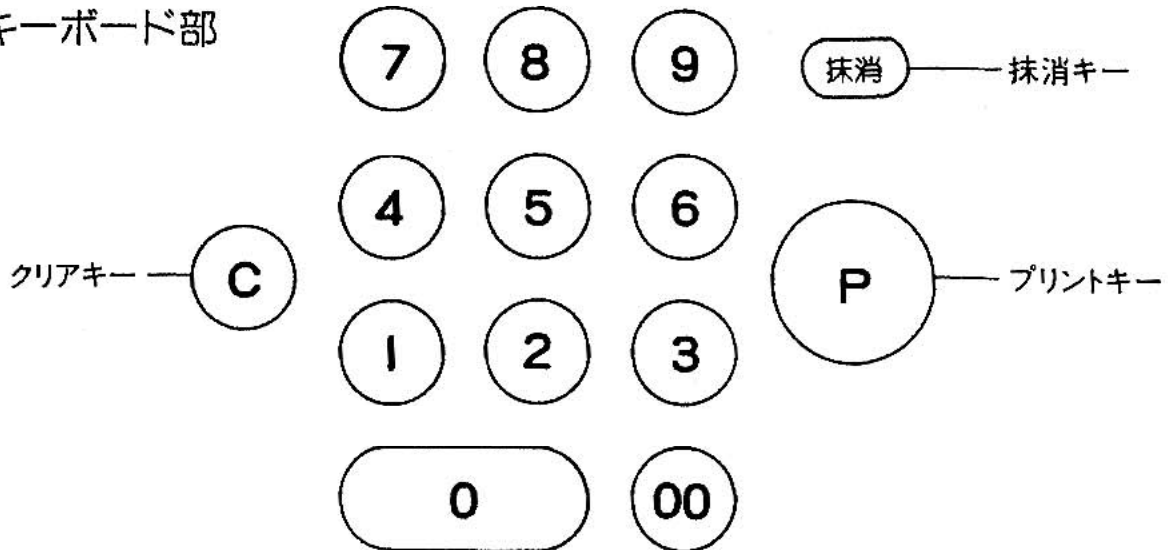
**お願い**

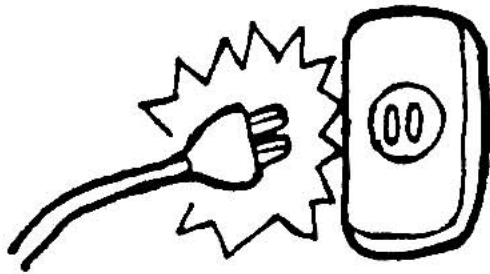
- インクロールは専用インクロール（R－50）をご使用ください。
  市販のインク、アルコール、油等は絶対に補給しないでください。故障の原因になります。
- 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。

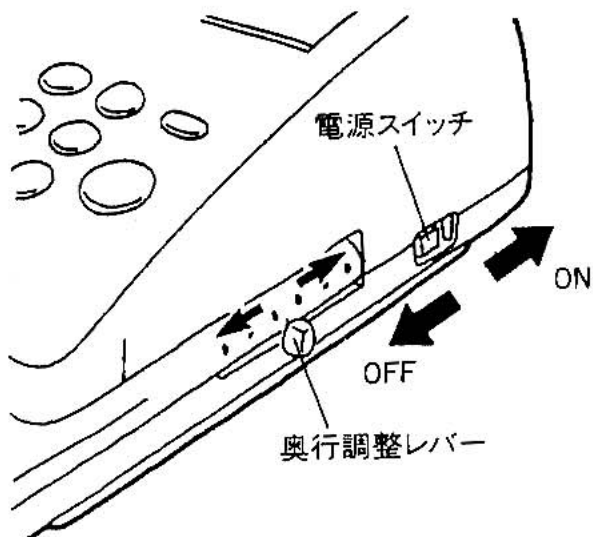
# 目次

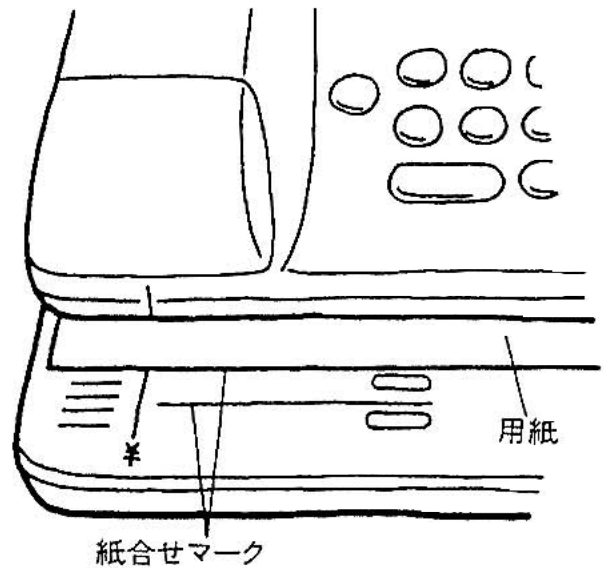
# 1 各部の名称（付属品）

**付属品**

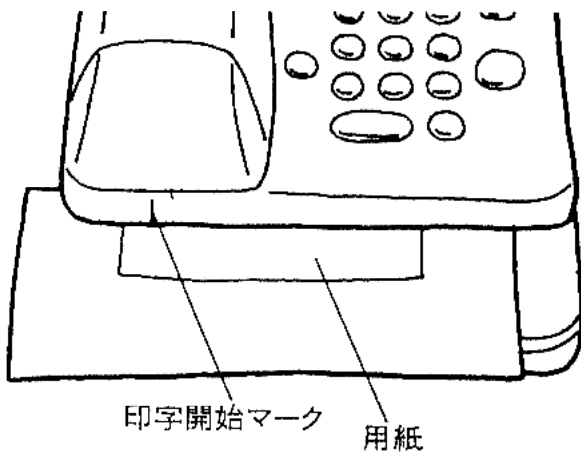
- ●インクロール（1個·本機セット済）
- ●取扱説明書（本書）
- ●本体カバー（1枚）
- ●試し打ち用紙（2枚）
- ●販売店名シール（1枚）
- ●印字位置シール（1枚）
- ●保証書（1枚）
（必要事項の記入もれがないか、ご確認ください。）

## 2 操作方法

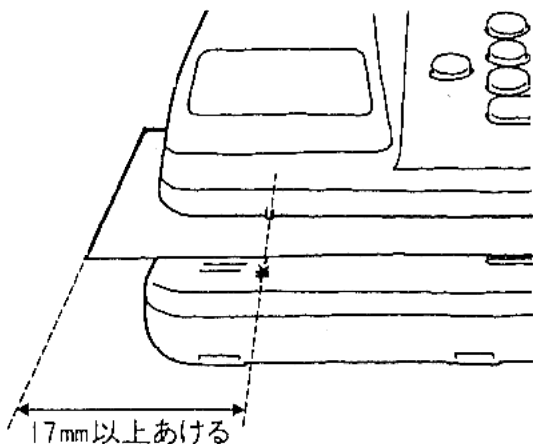
❶電源コードを100V専用コンセントに差し込みます。

❷電源スイッチを"ON"にします。表示部に"0"が表示されます。

❸奥行調整レバーで印字奥行を調整します。

メモ

●手形、小切手の場合には紙合せマークに用紙の下端を合わせます。

メモ

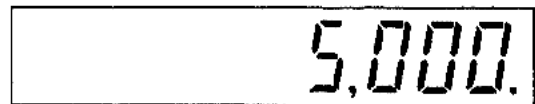
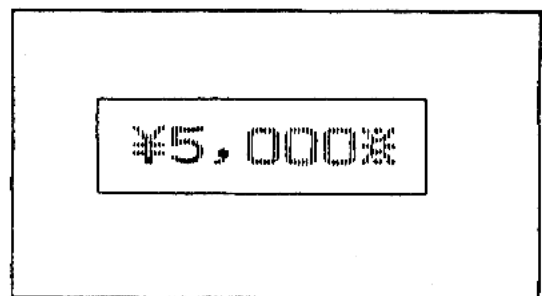
●証券以外の場合（領収書など）には、奥行調整レバーの目盛、テーブルの紙合わせマーク、字輪マークを目安にしてください。

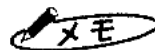
❹左右位置は、用紙の印字開始位置を印字開始マークに合わせます。印字開始マークの位置に￥が印字されます。

**お願い**

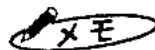
本機の機構上用紙の左端より印字開始部が17㎜以上ないと用紙が送られず、１ケ所に重ね印字してしまい証券を汚すおそれがあります。
ご使用の際は下図のように用紙を正しくセットしてください。

❺数字キーを押して希望の金額を入力します。

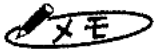
| 5,000. |
|---|

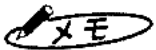
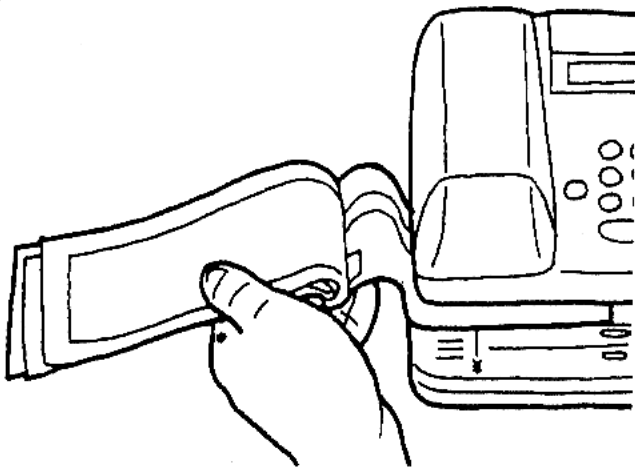
❻Ⓟキーを押します。

| ¥5,000※ |
|---|

❼入力画面と印字された用紙の記載が一致しているかどうかを必ずご確認ください。

メモ

●同じ金額でもう一枚必要な場合には、用紙を入れ、そのままⓅキーを押します。

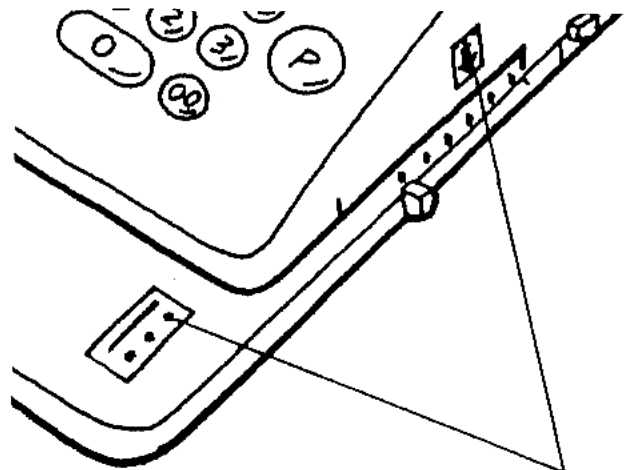
メモ

●別の金額をご希望の場合は、そのまま数字キーを押して入力してください。
Ⓒキーを押す必要はありません。

メモ

●冊子のまま印字する場合には、送られる用紙が上になるようにしてください。

メモ

●印字をした後、その金額が間違ったときは、©キーを押して表示を“0”にし、用紙を再セットして、抹消キーを押します。図の様に抹消されます。

¥¥¥¥5,000¥※

●印字位置シールのご利用方法

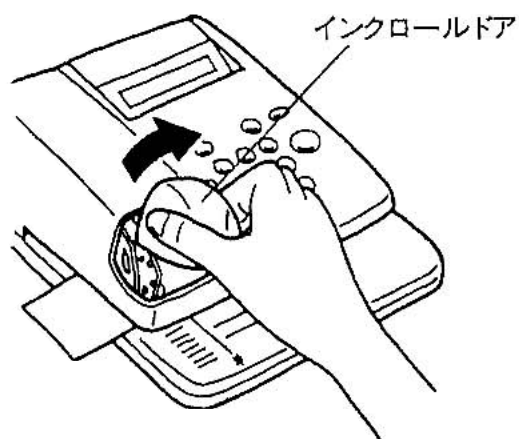
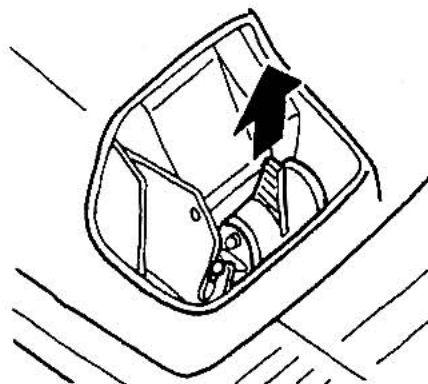
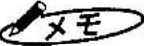
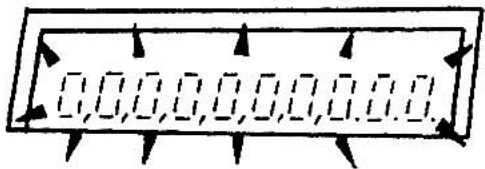
手形・小切手・領収書などの位置合わせ、奥行調整の目印として図のようにテーブル、ケースに貼ってご使用ください。

印字位置シール

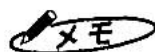
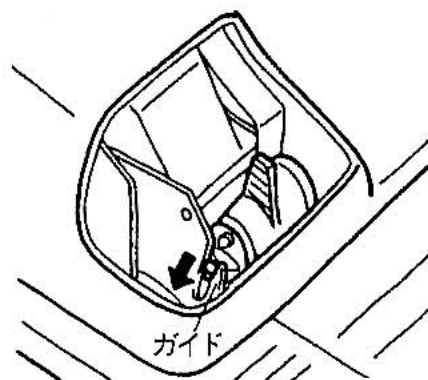
# 3 インクロールの交換

## ⚠ 注 意

●**インクロールを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。** 本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

●ご使用中印字がうすくなりましたら、下記の要領でインクロールの交換を行ってください。また、交換時テーブルにインクが付いて交換後に印字する時、証券の裏を汚すことがありますので、不用の紙を入れて行ってください。

❶インクロールドアを図のようにはずします。

❷セットされているインクロールを抜き取ります。

❸新しいインクロールを図のようにセットします。

メモ

●インクロールは別売となっておりますので、本機お買上げの販売店でマックス電子チェックライタ専用インクロールR－50とご指定の上お買求めください。

# 4 トラブルとその処置

メモ　ご使用中トラブルが発生した場合には、下表を参照して本機を確認してください。

| 症　状 | 処　置 |
| --- | --- |
| 用紙が入らない。 | 電源スイッチを“OFF”にして再び“ON”します。次に1桁目の“0”を確認後、Ⓟキーを押します。この症状の場合は、トラブル復帰後に証券の裏側が汚れる可能性がありますので不要の紙に一度印字させ、汚れを取ってからご使用ください。 |
| 表示が全桁“0”表示になり、点滅して作動しない。<br>（用紙が抜けなくなったり<br>用紙がさし込めなくなった） | 電源スイッチを“OFF”にして再び“ON”します。次に1桁目の“0”を確認後、Ⓟキーを押します。<br>（軽度のトラブルの場合にはこれで直り、再びご使用になれます。） |

**お願い**　Ⓟキーを押しても“0”が点滅してご使用になれない場合には、お買求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス㈱にご連絡ください。